事例No.	2082
公表年度	R4
団体の属性	都道府県
団体名	千葉県

事例区分	DX

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・ICT ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	農林水産業

事例内容・タイトル

最新の情報通信技術を活用した「漁海況予報システム」の導入

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

102 最新の情報通信技術を活用した「漁海況予報システム」の導入【千葉県】

事業の概要

○ 千葉県では、漁業者の操業を支援するため、海域の表面水温や黒潮の流路などを分析し、漁海況速報として水産情報通信センターのHPでPC向けに情報発信している。

○ この情報発信は、運用開始から18年が経過し、その間、海況予測技術や情報通信技術が大幅に進歩したことから、これまではできなかった漁業者ニーズの高い水深別の詳細な海況情報や定置網の破損など大きな被害を及ぼす急潮発生に係る情報提供等が可能となっている。

○ そこで、新たに最新技術を活用した「漁海況予報システム」を開発するとともに、この予測情報をスマートフォン向けに動画発信することで、操業の効率化と漁業者の利便性の向上を図ることとしている。



【参考情報①】 人口：627.3万人
関連URL：http://fish-chiba.wni.co.jp/

【参考情報②】デジタル田園都市国家構想推進交付金（内閣府）とは
URL：
https://www.chisou.go.jp/sousei/about/mirai/policy/policy1.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



千葉県では、令和３年度に千葉県スマート水産業推進方針を策定し、水産現場へのICT等の新技術の実装を進めることとしています。
この一環として、漁業者ニーズの高い沿岸の水深別の水温や潮流の海況予報を行う「漁海況予報システム」の開発に取り組み始めました。

（千葉県）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



現在、漁海況予報システムを導入するため、国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用しています（令和４年度事業費16,500千円（うち交付金 8,250千円））。
また、別に進める「急潮予測システム」の開発についても当該交付金を活用して同時に進めています。

★担当：千葉県農林水産部水産局 水産課★

令和3年度事業費　481千円